

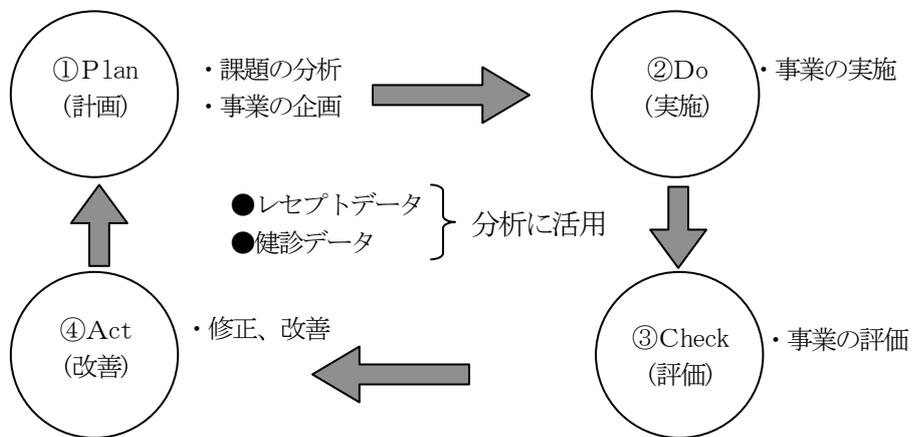
「データヘルス計画」について

共済組合では、組合員やその家族のみなさんの健康の保持増進を図るため、検診助成をはじめとする各種保健事業を実施しております。「データヘルス計画」では、データ分析から健康課題を明らかにするとともに、各種保健事業の効果的な実施のため効果測定と評価を行い、必要に応じて保健事業の改善を行います。

1. データ分析に基づき「PDCAサイクル」に沿って保健事業を実施

- ①Plan (計画) レセプトデータ、特定健診データ等を分析し保健事業の計画を立てる。
- ②Do (実施) 計画に沿って保健事業を実施する。
- ③Check (評価) 実施した保健事業の成果を評価
- ④Act (改善) 評価に基づいて改善に取り組み、①の計画に反映させる。

データ分析に基づいた計画を、①から④のサイクル（PDCAサイクル）に沿って行います。



2. データヘルス計画ではどのようなことができるのか

- データ分析による組合、所属所、個人の健康状況、医療費状況の把握、健康課題の明確化
- 分析結果を広報等に活用、健康・医療情報を提供し、一次予防と健康意識の増進を図る。
- 重症化予防のための情報提供

データヘルス計画では、レセプトデータと健診データを突合することで、医療費状況や健康課題の分析を行います。これらの情報を保健事業の効果的な実施に反映させます。

3. 計画期間、計画の公表

計画期間の第1期は平成27年度～平成29年度(3年間)です。

「データヘルス計画」策定は平成27年9月頃を予定しています。策定後の「データヘルス計画」は共済組合ホームページ等で公表します。